



平成22年発足。現在、頓原小学校と赤名小学校の2~6年生の14人が所属

**第48回島根県少年武道大会**  
**引剣道少年団が3位入賞**  
 7/1日  
 島根県立武道館で開催された「島根県少年武道大会」で、引剣道少年団が小学校高学年の部で「3位入賞」しました。  
 試合は6人の団体戦で、高橋遥希さん、高尾斗梧さん、灘尾拓馬さん、日野七美さん、森山敬翔さん、安井亮太さんが出場。県内から61チームが参加する中、県内1位のチームを破るなど激戦を勝ち上がりました。  
 主将の高橋遥希さんは「チームワークが大切なので、声を掛け合うことを心がけました。3位入賞は嬉しかったけど、次の試合は必ず優勝したい」と次の試合への抱負を。



全員で抱んだ3位入賞



団員も募集中です

指導者の日野和美さんは「剣道を通して『目配り、気配り、心配り』ができる人になってほしい。自分でできることは自分で。他人任せ、人のせいにしてない人。また、私と子ども達だけで頑張るのではなく、保護者の方とも一緒に盛上げていきたい」と話していました。

地域住民手づくりの  
いちりナイトウォークラリー

6/23 土

約4キロ(二里)の道のりを、クイズやゲームに挑戦しながら歩く「いちりナイトウォークラリー」が、さつき会館周辺で開催されました。  
 今年は、地域住民やUターン者、わらべの学校の卒業生、町内4人の地域おこし協力隊員など54人のスタッフと、158人の参加者、合わせて212人が集まりました。  
 今年で21回を数えるこのイベント。参加者からは「100回を目指そう」と声が上がると、住民が



体育館やお寺、神社などの地域の施設を巡ります

主体となって地域を盛り上げていました。

子どもたちの安全を見守り  
日高敬二さんが受章



日高敬二さん

日高敬二さん(赤色)が、「小さな親切」を行った団体・個人に贈られる、「小さな親切実行章」を受章されました。(公社)「小さな親切」運動本部から)

日高さんは、長年、赤名小学校児童の登校時間に自宅前の交差点に立ち、児童の登校を見守り、声かけをされています。それは、病気で倒れ、車椅子生活になった今でも変わりません。  
 地域の人が毎日見守ってくれている。当たり前のごとく、子ども達にとっても幸せなことではないでしょうか。

梅雨明け間近のにぎわい  
半夏まつり

7/7 土

迫力の神楽演舞を間近で



飯南の夏の風物詩「半夏まつり」が赤名連担地で開催されました。前日までの大雨も、まつりが始まる頃にはすっきり上がり、会場周辺は町内外の多くの来場者でにぎわいました。  
 旧赤名JRバス車庫に設けられた特設ステージでは、イソガシシヤージュや飯南牡丹組、飯南神楽団、広島のシンガソングライター「Sea」が会場を盛り上げ、あの大物声優のモノマネでお馴染みのお笑い芸人「アイデンティティ」のライブでは、会場は笑いの渦に包まれていました。



島根県よさこい連盟総踊り曲「はじまりはしまね」などを披露



賑わう赤名連担地



子ども達にも大人気イソガシシヤージュ

飯南町敬老会

今年も頓原で開催

これまでのご苦労に感謝し長寿をお祝いする敬老会を開催します。  
**対象** 町内在住の75歳以上の人、町内在住の金婚記念のご夫妻  
**日時** 9月17日(祝・月)10時~11時30分  
**会場** 頓原農村環境改善センター  
**みせん** 敬老会に併せて金婚(結婚50周年)

地方創生に向けた  
人材育成に関する連携協定を締結

全国で人材育成に取り組む(一財)地域活性化センターと本町との間で、地方創生に向けた人材育成に関する連携協定を締結しました。

同センターの椎川忍理事長は「職員一人ひとりが地方創生の担い手。まちづくりを我がこととして考えなければならぬ」と話し、山碕町長は「地域に人材を求めただけでなく、役場としても職員の育成に取り組まなければならない。住民が生きがいや幸せを感じられる町をつくりたい」と決意を話しました。



椎川理事長(左)と山碕町長

なっており、住民の視点に立つて仕事ができる職員の育成を進めます。

を迎えられるご夫婦をお祝いします。  
**対象** 対象となるご夫婦は、保健福祉課までご連絡をお願いします。出席できない場合でも、記念品をお贈りします。お気軽にご相談ください。  
**対象** 金婚(結婚50周年)を迎えられるご夫婦(昭和44年1月1日~12月31日の間に結婚)  
**記念品** ご夫婦の記念写真  
**募集期限** 8月17日(金)  
**問合せ** 保健福祉課 電話72・1770